

繊維技術セミナーのご案内

(平成27年度日本繊維機械学会記念講演会)

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター
一般社団法人日本繊維機械学会東海支部
公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター
愛知県繊維振興協会

繊維業界の皆様を対象に、地域の新しい発展を図るため、次のテーマについての講習会を開催します。多数ご参加ください。

とき 2015 **6/30 (火)** 13:20~16:00

会場 公益財団法人一宮地場産業ファッションデザインセンター 4階視聴覚室
受講料：無料

「布を用いた柔らかい入力デバイスの開発」 13:20~13:35

内容：パソコンやスマートフォンなどに用いる周辺デバイスが柔らかくなれば、その応用範囲が広がります。ここでは、布にスイッチの機能を付与した入力デバイスを開発しましたので紹介します。

講師：あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 主任研究員 堀場 隆広

「羊毛繊維の銀粒子沈着処理と処理羊毛布の特性」 13:35~13:50

内容：ハロゲン化銀の光還元法の応用により銀粒子を沈着させた羊毛布を作製し、銀粒子の沈着の様子や沈着処理羊毛布の染色性、抗菌性、耐シワ特性について検討しましたので報告します。

講師：椋山女学園大学大学院 生活科学研究科 生活環境学専攻 舟橋みゆき 氏

「質量分析計を利用した新しい獣毛鑑別法」 13:50~14:50

内容：動物種により毛を構成するタンパク質のアミノ酸配列は少しずつ異なります。この違いをMALDI-TOF質量分析計を利用して検出し、獣毛の動物種を特定し、混用率を算出する新しい方法を開発しました。この方法について説明します。

講師：金沢工業大学ゲノム生物工学研究所 所長 教授 大箸 信一 氏

「デジタル捺染技術について」 15:00~16:00

内容：日本における最もデジタル化されている捺染方式は昇華転写捺染です。現在はインクジェット(IJ)方式による昇華転写捺染が広く普及しています。IJ方式よりも高生産性、高画質化に対して付加価値を提供すべく電子写真方式を用いた【DENATEX-EST】を開発しました。その開発の背景と取組を紹介します。

講師：長瀬産業株式会社 カラー&プロセッシング事業部 デジタル捺染開発室 山田 竜二 氏

【申込み・問い合わせ先】会場準備の都合上、事前にお申し込みくださるようお願いいたします。

● FAX 0586 - 45 - 0509 または ● 電子メール owari-kikaku@aichi-inst.jp

あいち産業科学技術総合センター 尾張繊維技術センター 素材開発室

〒491-0931 一宮市大和町馬引字宮浦 35 電話 0586-45-7871

《繊維技術セミナー申込書》

2015年6月30日(火)

| | | |
|-----|-------|-----|
| 企業名 | 所属/氏名 | |
| 連絡先 | TEL | FAX |
| | 電子メール | |
| 所在地 | | |

ご記入いただきました個人情報は、各種連絡・情報提供のために利用させていただくことがあります。あらかじめご了承ください。

あいち産業科学技術総合センターニュースのメール配信を新規に登録希望の方はチェックしてください。□